



■護衛艦「あけぼの」をバックに記念撮影

■航空自衛隊芦屋基地でのT-4見学

自衛隊長崎地方協力本部は、長崎県内の多くの若者に自衛隊に対する理解を深めていただき、志願者の増加に繋がるよう、引き続き積極的な募集広報活動に努める所存である。

(募集課)

86名の引率支援を実施した。

このイベントは、募集対象者に自衛隊及び自衛官の姿を見てもらい、三自衛隊のイメージアップを図るとともに、自衛隊への入隊意欲の醸成を目的として毎年実施されている。

7月25日(月)から27日(水)は、陸上自衛隊飯塚駐屯地で装備品及び施設の見学、航空自衛隊芦屋基地で中等練習機T-4、救難ヘリコプターUH-60J、高射機材等の見学等が行われ、7月28日(木)及び29日(金)には、海上自衛隊佐世保基地で護衛艦「あけぼの」の艦内見学等が行われた。

今回のイベントでそれぞれの駐屯地及び基地に足を運び装備品及び自衛官に接したことにより、自衛隊及び自衛官というものを実感することができたようで、参加者からは「とても楽しかった。ぜひ入隊したい。」「自衛官の方々はとても優しく、自衛隊に良いイメージを持ちました。」等の感想が聞かれた。

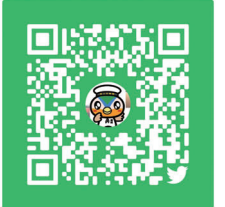
自衛隊長崎地方協力本部(本部長 江上昌利 1等海佐)は、7月25日(月)から29日(金)までの5日間、西部方面総監部が実施する三自衛隊統一募集広報(パワーアドベンチャー2022)に参加する募集対象者



発行所  
自衛隊長崎地方協力本部  
長崎市出島町2番25号  
TEL 095-826-8844



長崎地本公式 IP



長崎地本公式 Twitter



長崎地本公式 Instagram

## 予備自衛官への第1歩



自衛隊長崎地方協力本部(本部長 江上昌利 1等海佐)は、7月23日(土)、長崎地方協力本部庁舎において、7月1日付採用予備自衛官補に対し辞令書を交付した。

予備自衛官補は、一般と技能があり、それぞれ所定の教育訓練に参加し、必要な知識技能を習得した後、予備自衛官へ任用される。

今回、技能(衛生甲(薬剤師)、建設)2名の採用者に対し、制度訓練説明、辞令書交付、本部長の激励等を実施し、今後、常備自衛官及び即応予備自衛官とともに、我が国の防衛に貢献することへの意識付けを図った。

採用された予備自衛官補からは、「取得した資格を生かして予備自衛官として活躍するだけでなく、さらなるスキルアップを図りたい。」との発言も聞かれ、辞令書交付を結節として、高い志と将来への強い意欲を滲ませた。

自衛隊長崎地方協力本部は、予備自衛官補が予備自衛官へスムーズに任用することができるよう、きめ細やかな支援を実施し、引き続き予備自衛官等の勢力確保に努めていく。

(援護課)



■予備自補辞令書交付式



■記念写真撮影

国家を守る、  
公務員。  
自衛官募集中



令和4年度  
自衛官候補生  
WEB試験開始



自衛隊長崎地方協力本部(本部長 江上昌利 1等海佐)は、7月4日(月)から10日(日)の間、令和4年度第1回自衛官候補生WEB試験を実施した。WEB試験は、昨年度から全国的に多くの地本で取り入れられており、当地本も本年度から本格的に取り組んでいる事業で、従来の筆記試験と内容は変わらないものの、インターネット回線を利用して、受験者が保有しているスマートフォンやタブレット等のデバイスを活用する方法で行われ、各試験時間(学科・適性・作文)を個人で計画的に選択できる最近の社会情勢を反映した合理的な試験である。

今回は、各地域事務所等において県内の76名(男子52名、女子24名)が受験し、受験者は、WEB試験の概要説明を受けた後、動作確認サイトにおいて試験の流れや入力方法を理解した上で、試験サイトに移行して本試験を開始した。受験者は携帯電話を手に筆記試験以上の素早い手つきで操作し、多くの受験者が示された時間内よりも早く終了していた。

試験終了後、WEB試験について多くの受験者は「筆記試験よりやり易かった。」と感想を述べていた。なお、9月には第2回目の自衛官候補生WEB試験を実施予定である。自衛隊長崎地方協力本部は、自衛官採用試験の完全WEB化を推進していく予定である。

(募集課)



CH-47JAの前で記念撮影



ヘリコプター見学



体験搭乗

### 離島の五島市と新上五島町で体験搭乗を実施

自衛隊長崎地方協力本部(本部長 江上昌利1等海佐)は、5月14日(土)、陸上自衛隊西部方面航空隊第109飛行隊(隊長 大石洋一郎3等陸佐)の支援を受け、離島の福江空港(五島市)及び有川ヘリポート(新上五島町)において、陸上自衛隊の大型ヘリコプターCH-47JAの体験搭乗を実施した。

今回は82名の方が参加し、午前に福江空港、午後には有川ヘリポートにおいて、使用機体見学の後、搭乗時における安全確保のための注意事項や緊急時の対処要領等についての説明に続き体験搭乗が行われた。

参加者は普段見られない陸上自衛隊のヘリコプターに興味津々の様子で見学し、搭乗の際には頭上で回転するローターの迫りに驚きの表情を浮かべ、飛行の際には喜びの声を上げる様子も見られた。

自衛隊長崎地方協力本部では、自衛隊と接する機会の少ない離島における募集広報活動は非常に重要であると考えており、このようなイベントを通じて自衛隊に関心を持った若者が自衛隊を志すきっかけとなり、志願者が増えることを大いに期待し、引き続き積極的な募集広報活動に努める所存である。(募集課)



航空説明会



艦載ヘリコプター(SH-60K)見学

### 航空学生説明会及び基地見学に参加

自衛隊長崎地方協力本部(本部長 江上昌利1等海佐)は、7月23日(土)、海上自衛隊大村航空基地において、第22航空群(前司令 國見泰寛海将補)主催の航空学生説明会及び基地見学に参加する募集対象者8名及び保護者1名を引率支援した。

航空学生説明会では、第22航空群所属の航空学生出身パイロットが、自己紹介のほか職場や業務内容、学生時代の体験談等について講話し、参加した募集対象者は一様に真剣な表情で耳を傾け、熱心に質問をする様子も見られた。また、基地見学では、艦載ヘリコプターSH-60K、整備隊格納庫、隊員食堂、屋内プール等を見学した。ヘリコプター見学の際には、操縦席に座ることが許可され、初めての体験に嬉しそうな表情を浮かべる参加者の様子が見られた。

説明会及び見学終了後には、「航空学生を受験したい」、「パイロットになりたい。」等、参加した募集対象者からは熱意のこもった声が聞かれ、航空学生への志願意欲の高揚には有意義な体験となったようだ。

自衛隊長崎地方協力本部は、今後も県内の多くの若者に自衛隊に対する理解をさらに深めてもらい志願者増加に繋がるよう、引き続き積極的な募集広報活動に努める所存である。(募集課)



ながさき in 出島メッセ

## 防災フェスタ

自衛隊長崎地方協力本部(本部長 江上昌利1等海佐)は、7月16日(土)出島メッセ長崎で行われたながさき防災フェスタに参加した。

ながさき防災フェスタは、長崎大水害から40年を迎えるにあたり幅広い世代にその記憶を伝承し、防災意識を高めることを目的として長崎市が主催したものである。

自衛隊長崎地方協力本部は、会場において災害派遣活動のパネル展示及び第16普通科連隊(連隊長 福添哲生1等陸佐)の支援を受け、装備品(軽装甲機動車、偵察用オートバイ)の展示を行い、家族連れを中心に約400名の見学者が訪れた。

パネル展示コーナーにおいては、災害派遣のパネルを見て熱心に質問される方や感心した表情を浮かべられている方が多く、自衛隊の活動に関心を寄せられている様子が伺えた。一方、装備品展示コーナーは、多くの子供たちで賑わい、オートバイに乗った子供を記念撮影する家族など楽しそうな様子が多く見受けられた。

今回、ながさき防災フェスタに参加したことは、防災機関関係者及び地域の方々へ自衛隊の活動を知ってもらう機会となった。

自衛隊長崎地方協力本部は、今後も各自自治体で行われる防災訓練を始め、各種防災イベントに積極的に参加し防災機関との連携強化を図りつつ、地域の方々への自衛隊活動に対する理解を深めていく所存である。(総務課)

# 諫早防衛協会の海上自衛隊佐世保基地研修を支援



■護衛艦「あまぎり」乗艦



■護衛艦「あまぎり」艦内説明



■海上自衛隊佐世保地方総監部による概況説明



■地下壕 (旧佐世保鎮守府防空指揮所跡)見学

諫早地域事務所(所長 我謝良彦2等陸尉)は、6月14日(火)に諫早防衛協会(会長 永江正澄様)の海上自衛隊佐世保基地研修に伴う参加者の引率支援を実施した。研修は諫早防衛協会の会員13名が参加して行われ、海上自衛隊佐世保地方総監部による海上自衛隊の概況説明、地下壕(旧佐世保鎮守府防空指揮所跡)及び護衛艦「あまぎり」の見学が実施され、参加者からは時折質問が出る等、終始にわたり興味深い様子であった。

多くの参加者からは、「海上自衛隊の概況や佐世保地方総監部の任務等を理解することができた。また、地下壕及び護衛艦の見学をすることができたのは大変貴重な体験でした。」という声があり、自衛隊に対する理解の深化という研修の目的は達成できた。

諫早地域事務所は、市民の皆様への自衛隊に対する理解を深め、さらなる信頼を得すべく、引き続き積極的な広報活動を実施する所存である。(諫早地域事務所)



## 防衛大学校 オープンキャンパスに参加!

諫早地域事務所(所長 我謝良彦2等陸尉)は、7月23日(土)、24日(日)の両日、防衛大学校(学校長 久保文明)開催のオープンキャンパスに参加する募集対象者4名及び保護者4名の引率支援を実施した。

オープンキャンパスにおいては、学校長の特別講演、教授の模擬授業、学部紹介等が実施され、特別講演では、防衛大学校に関する様々な話が展開される中、「防衛大学校は自衛隊のリーダーを育成する日本で唯一の大学教育機関であるとともに、学生と教職員が一致団結し、「世界一の士官学校」という一つの目標に向かって邁進しています。皆様もこの創造的事業にチャレンジしてみませんか。」との学校

長の問いかけに、参加者した募集対象者の眼差しはより一層輝きが増したように見受けられた。また、模擬授業や学部紹介においても、興味深い表情で話を傾けていた。

オープンキャンパス終了後、参加者した募集対象者からは「防衛大学校における学生の生活環境や講義の内容等がわかり参考になった。」「以前から興味があった防衛大学校の機械工学の模擬授業を体験することができて本当に良かった。」「等の感想が述べられ、今後の進路選択の一助として有意義な経験ができたようであった。

今回参加した募集対象者の中から防衛大学校の志願者が出ることを大いに期待したい。(諫早地域事務所)



## 海上自衛隊・航空自衛隊の音楽隊研修を支援

長崎募集案内所(所長 坂井粘准陸尉)は、7月12日(火)に海上自衛隊佐世保音楽隊(隊長 高野賢一1等海尉)、14日(木)に航空自衛隊西部航空音楽隊(隊長 山本史月3等空佐)を研修するため、両日とも同一の募集対象者3名に対する引率支援を実施した。



■海上自衛隊 佐世保音楽隊での演奏指導



■航空自衛隊 西部航空音楽隊での概要説明

海上自衛隊佐世保音楽隊では、概要説明、アンサンブル演奏、専攻楽器に分かれての個別演奏指導が実施され、航空自衛隊西部航空音楽隊では、体験喫食の後、概要説明、専攻楽器に分かれての隊員との懇談が実施された。参加者は、音楽隊での生活勤務環境の説明、職種説明会参加時の準備事項や演奏法に関するアドバイス等について、音楽隊の隊員から直接話を聞くことができ、非常に満足した様子であった。また、研修終了後には、「音楽隊へぜひ入隊したい。」「海上自衛隊又は航空自衛隊の音楽隊の隊員として演奏したい。」と熱意ある発言が出る等、参加者の入隊意欲がさらに高まる有意義な研修となった。

長崎募集案内所は、多くの若者に自衛隊に対する理解をさらに深めてもらい、志願者の獲得に繋がるよう、引き続き積極的な募集広報活動に努める所存である。(長崎募集案内所)

# 自衛隊 隊内生活体験を実施!



基本教練



救急法の指導



ロープ結索法

自衛隊長崎地方協力本部(本部長 江上昌利1等海佐)は、5月11日(水)から13日(金)までの間、第16普通科連隊(連隊長 福添哲生1等陸佐)の支援を受け、大村駐屯地において、株式会社亀山電機の新社員4名に対する自衛隊隊内生活体験を実施した。

自衛隊隊内生活体験は、「国民のために、国民とともにある自衛隊」の実際の姿を広く国民の皆様にも知ってもらうことを目的・意義として実施しており、通常は駐屯地又は基地内に宿泊し、隊員と同じような日課で起居宿泊する団体生活を味わい、自衛隊や隊員の行動の一部を体験してもらっているが、今回は新型コロナウイルス感染防止の観点から、宿泊せず毎日駐屯地に通う方法での実施となった。

実施した3日間は雨の天候となったが、参加者は戦闘服を着用し、基本教練、ロープ結索法、救急法の基礎等を体験した。また、最終日には、大村駐屯地から岳ノ木場公園までの坂路における約3kmの行進訓練が土砂降りの中で決行されたが、全員が力強く歩を進め、揃って元気にゴール地点へ到着した。



行進訓練

自衛隊隊内生活体験終了後の参加者による所感発表では、「大変貴重な体験ができた。最初は怖い印象があった自衛官の方々も実際はとても優しく、自衛隊に対するイメージが変わった。」「日々の訓練の積み重ねにより、災害派遣等において活躍されているんだなということを実感した。」等の感想が述べられ、自衛隊隊員に対する親近感や信頼感を改めて感じ取ってもらえたようであった。

自衛隊長崎地方協力本部は、今後も県民とのかけはしとなるべく、日々の業務に邁進する所存である。(募集課)

## 人事異動

◆転入 令和4年7月1日付  
第15警戒隊(福江島)から本部 募集課へ



1等空尉 田村 秀孝

◆転入 令和4年8月1日付  
大村駐屯地業務隊(大村)から大村駐屯地援護センターへ



陸曹長 太田 昭宏

◎西部方面後方支援隊(大分)から本部 総務課へ



1等陸曹 野口 勝弘

◎西部方面後方支援隊(目達原)から諫早地域事務所へ



1等陸曹 松本 かおり

◆転出 令和4年7月1日付  
本部 募集課から航空幕僚監部(市ヶ谷)へ

1等空尉 秋重 裕二

◆転出 令和4年8月1日付  
琴海地域事務所から第16普通科連隊(大村)へ

1等陸曹 寺崎 圭一郎

◎島原地域事務所から第4施設大隊(大村)へ

2等陸曹 北村 貴裕

◎本部 募集課から第102高射特科隊(竹松)へ  
3等陸曹 坂井 香織  
◎本部 総務課から陸上幕僚監部(市ヶ谷)へ  
防衛事務官 佐藤 千春

◆転入 令和4年8月1日付  
大村駐屯地業務隊(大村)から琴海地域事務所へ



1等陸曹 池崎 順一

◎第4師団司令部付隊(福岡)から島原地域事務所へ



1等陸曹 鬼塚 祐樹

◎第22整備補給隊(大村基地)から大村地域事務所へ



3等海曹 山田 達也

◎補給統制本部(十条)から本部 総務課へ



防衛事務官 金城 拓海

◆部内異動 令和4年8月1日付  
長崎地域援護センターから大村駐屯地援護センターへ

准陸尉 齊藤 和明

◎大村駐屯地援護センターから長崎地域援護センターへ

陸曹長 溝口 将史

◎諫早地域事務所から本部 募集課へ

2等空曹 中武 桂子

**陸海空 自衛官募集**

インターネットからも応募できます  
自衛官募集 検索

募集フリーダイヤルコールセンター  
守ろうみんなの国  
**0120-063792**  
年中無休 受付時間  
12:00~20:00

昇任  
【准陸尉へ昇任】  
本部 募集課 松本俊哉

【陸曹長へ昇任】  
本部 募集課 荒木義弘

【2等陸曹へ昇任】  
佐世保出張所 島田雄大

昇格  
【行政職(一)2級へ昇格】  
防衛事務官 佐藤千春  
防衛事務官 池田拓哉  
防衛事務官 市平春樹

表彰  
◆令和3年度 優秀所  
本土の部  
【最優秀事務所】 長崎募集案内所  
【優秀事務所】 佐世保出張所

離島の部  
【最優秀事務所】 志岐駐在員事務所

◆令和3年度 優秀広報官  
【最優秀広報官】 島田2等陸曹(佐世保出張所)

【優秀広報官】 中野1等陸曹(大村地域事務所)

【敢闘広報官】 山口陸曹長(大村地域事務所)

【敢闘広報官】 神部2等陸曹(佐世保出張所)

【敢闘広報官】 七種陸曹長(長崎募集案内所)

【敢闘広報官】 浦3等空曹(長崎募集案内所)

定年退職  
お疲れ様でした  
5月15日付退官  
総務課  
3等陸尉  
岩永 忠士